



子どもの望ましい行動を増やしていくために

11月23日の図工展・オープンスクールには多くの方々にお越しいただき、子どもたちのがんばりをご覧いただけたことと思います。来賓の方々も根気強く取り組んだ結果のすばらしい作品に最大の賛辞を送っていただきました。また、自分の子どもの作品にも感動したけれど、どの作品もすばらしく涙が出ました。と連絡をくださった保護者の方もおられました。本当に素敵な図工展だったと自負しています。

さて、先日、『子どもの「できた!」「やった!」を増やすポジティブ行動支援』という講演会がありました。保護者や教員対象の講演会で、講師は大阪教育大学の庭山和貴准教授でした。ポジティブ行動支援とは、子どもの望ましい行動に注目し、できていることをほめたり、活躍する場を設定したりするなどポジティブに関わることで望ましい行動を増やしていく方法です。例えば、床にゴミが落ちているのを見つけたとき、ゴミを拾ったら、ありがとうと褒められる。褒められたら「できた!」「うれしい!」と感じる。行動を起こした結果、良いことが起きるとその行動が増加します。良い行動を増やしていくためには、子どもたちが「褒められる経験」や「できた喜び」、「がんばったと感じる」、「楽しいと思える経験」をたくさんできる環境設定が重要なのだそうです。だから、褒めましょう、なのですが、褒めるだけでは不十分です。褒められることが、子どもたちにとって、「良いこと」や「嬉しいこと」である必要があります。子どもたちにとって、「良いこと」や「嬉しいこと」があったら、またしようと思います。そのためには、何が良かったかを伝える必要があります。ポジティブな行動支援で大切にしていることは、子どもたちが安心して過ごせる場所があり、自分の存在を認められる温かな環境の中で自信をもって主体的に行動できる子どもを増やすことだそうです。褒めてばかりなら、子どもを叱ってはいけないうのかと思ってしまいます。ですが、子どもの命や身体安全に関わることや人権を侵害するような行為に対しては、毅然と対応する必要がありますし、叱ることも必要です。しかし、叱った後は、どこがいけなかったのか、どうすればよかったのかを合わせて説明することが大切です。そして、その後、少しでも良いところがあれば、すかさず、褒めたり認めたりするといいいのことでした。大人が余裕をもって、このように対応していきたいものです。

師走に入りました。周りが慌ただしくなってきます。学校では、落ち着いて、2学期のまとめをし、新年に備えたいと思っております。

12月行事予定

- 2日(月) 児童集会 委員会
- 3日(火) なわとびチャレンジ(13日まで)
- 4日(水) サイバー教室3~6年(6校時)
- 5日(木) 振替日
- 6日(金) 14:50下校
- 9日(月) 朝会 クラブ活動
- 11日(水) あまっ子ステップアップ調査事業
(学力調査・全学年)
- 16日(月) 感謝する会 クラブ活動
- 24日(火) 給食最終日(給食後下校)
- 25日(火) 終業式・大そうじ
- 26日(水) 冬季休業日(～1月7日)



1月の予定

- 8日(水) 始業式
- 9日(木) 給食開始
- 14日(火) 朝会 委員会
- 17日(金) オープンスクール
避難訓練 書き初め展
- 20日(月) クラブ活動
- 21日(火) 6年観劇会
- 22日(水) 武庫中クラブ体験
- 27日(月) 児童集会 クラブ活動
- 31日(金) 地区 バスケット
ボール大会



【諸費振替日】

5日(木)

12月の振替日は、5日(木)の1回となっています。残高不足にならないようご協力お願いします。

【感謝する会】

16日(月)

普段からお世話になっている、給食調理師さん・校務員さん・見守り隊のみなさん・あましんの方・図書ボランティアさん・地域の方に対して感謝の気持ちを伝えます。

